

大学番号：私002

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

認可

札幌保健医療大学 看護学部 栄養学科

(保健医療学部(平成29年度より学部名称変更))

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人吉田学園

令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局(課)名 大学事務局総務課

職名・氏名 カチヨウ 課長 テルイ 照井 ショウゴ 省吾

電話番号 011-792-3350

(夜間) 011-792-3033

F A X 011-792-3358

e-mail terui@sapporo-hokeniryuu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

保健医療学部

<栄養学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者  
学校法人吉田学園

(2) 大学名  
札幌保健医療大学

(3) 調査対象大学等の位置  
〒007-0894  
北海道札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号  
(〒060-0063)  
(北海道札幌市中央区南3条西1丁目15番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヨシダ マツオ) 吉田 松雄 (昭和53年10月)		
学長	(イナバ ヨシエ) 稲葉 佳江 (平成25年4月)	(コバヤシ セイイチ) 小林 清一 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日(元)
学部長	(コバヤシ セイイチ) 小林 清一 (平成27年7月)	(アラカワ ヨシヒト) 荒川 義人 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日(元)
学科長等	(アラカワ ヨシヒト) 荒川 義人 (平成29年4月)	(クボ チヅル) 久保 ちづる (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)  
令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
保健医療学部 栄養学科 学士（栄養学）	家政関係	年 4	人 80	年次人 -	人 320	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	-	-	-	-	80	0	80	0	80	0	0.34倍	一倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(若干)	(-)			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
志願者数	-	-	-	-	63	0	47	0	82	0			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
受験者数	-	-	-	-	62	0	47	0	82	0			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
合格者数	-	-	-	-	62	0	46	0	78	0			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
B 入学者数	-	-	-	-	26	0	22	0	36	0			
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(4)	(-)			
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.32		0.27		0.45				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	26	0	22	0	37	0	3年次に編入生4名含む
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 1 )	( - )	
2年次			-	-	-	-	24	0	20	0	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	28	0	
	[ - ]	[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次					-	-	-	-	-	-	-
	[ - ]	[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計			-	-	26	46	85				
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 1 )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	26 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	2 人	0 人	進路再考(1人)・納入金未納による除籍(1人)
平成30年度	46 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	1 人	0 人	進路再考(1人)
令和元年度	85 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合計		3 人		3 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{26} = \boxed{7.69} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{46} = \boxed{2.17} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{85} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<保健医療学部 栄養学科>

### (1) -① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	学習と思考力	学びの理解	1前	1			1					兼3
		論理的思考	1前	2								兼1
		情報処理	1前	1								兼1
		統計分析法	1後	1								兼1
		生物学	1前		1							兼1
		基礎化学	1前	2			1					
	小計(6科目)	—	7	1	0	2	0	0	0	0		兼6
	言語と表現力	英語Ⅰ(基礎)	1前	1								兼1
		英語Ⅱ(会話)	1後	1								兼2
		英語Ⅲ(読解)	2前		1							兼1
		英語Ⅳ(総合)	4後		1							兼1
		表現技法Ⅰ(読解・分析)	1前	1								兼2
		表現技法Ⅱ(討議・発表)	1後	1								兼2
小計(6科目)	—	4	2	0	0	0	0	0	0		兼5	
人間と社会	心理学	1前	2								兼1	
	倫理学	1前	1								兼1	
	生態学	1前		1							兼1	
	スポーツ科学と運動	1後		1							兼1	
	スポーツ理論	1後		1							兼1	
	地域社会文化論	1後		2							兼1	
	社会貢献と活動	2前		1							兼1	
	生活環境論	2前		2							兼1	
	現代社会論	2前		2							兼1	
	国際社会論	4後		1							兼1	
	法と人権	1後		2							兼1	
	教育学	2後		1							兼1	
	文学と人間	4後		1							兼1	
小計(13科目)	—	5	13	0	0	0	0	0	0		兼10	
基礎教育科目 合計(25科目)			16	16	0	2	0	0	0	0		兼21
社会・環境と健康	生涯発達論	1前		1							兼1	
	人間関係論	1前	1								兼1	
	生命倫理	2前		1							兼1	
	医療概論	2前		2		1						
	健康管理概論	2後	2								兼1	
	公衆衛生学	2前	2			1						
	公衆衛生学実習	2後	1			1					兼1	
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3後	1								兼1	
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4前		2							兼2	
	小計(9科目)	—	7	6	0	2	0	0	0	0		兼6
専門基礎科目	形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1	
	形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1	
	形態機能学実習Ⅰ	2前	1								兼1	
	形態機能学実習Ⅱ	2後	1								兼1	
	有機化学	1前		2		1						
	病理学	2前	2								兼1	
	微生物学	1後	2			1						
	微生物学実験	1後	1			1						
	生化学Ⅰ	1後	2			1						
	生化学Ⅱ	2前	2			1						
	生化学実験	2前	1			1			1			
	病態診療学Ⅰ	2後	2			1						
	病態診療学Ⅱ	3前	2			1						
小計(13科目)	—	20	2	0	3	0	0	1	0		兼2	

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教育科目	学習と思考力	学びの理解	1前	1			1					兼2
		論理的思考	1前	2								兼1
		情報処理	1前	1								兼1
		統計分析法	1後	1								兼1
		情報リテラシー	1後		1							兼1
		生物学	1前		1					1		
		基礎化学	1前	2			1		1			
	小計(7科目)	—	7	2	0	1	0	1	0	0		兼4
	言語と表現力	英語Ⅰ(基礎)	1前	1								兼2
		英語Ⅱ(会話)	1後	1								兼2
		英語Ⅲ(読解)	2前		1							
		英語Ⅳ(総合)	4後		1							
		表現技法Ⅰ(読解・分析)	1前	1								兼1
表現技法Ⅱ(討議・発表)		1後	1								兼1	
小計(6科目)	—	4	2	0	0	0	0	0	0		兼5	
人間と社会	心理学	1前	2				1					
	倫理学	1前	1								兼1	
	生態学	1前		1							兼1	
	スポーツ科学と運動	1後		1							兼1	
	スポーツ理論	1後		1							兼1	
	地域社会文化論	1後		2							兼1	
	社会貢献と活動	2前		1							兼1	
	生活環境論	2前		2							兼1	
	現代社会論	2前		2							兼1	
	国際社会論	4後		1							兼1	
	法と人権	1後		2							兼1	
	教育学	2後		1				1				
	文学と人間	4後		1							兼1	
小計(13科目)	—	5	13	0	2	0	0	0	0		兼10	
基礎教育科目 合計(26科目)			16	17	0	3	0	1	0	0		兼19
社会・環境と健康	生涯発達論	1前		1			1					
	人間関係論	1前	1								兼1	
	生命倫理	2前		1							兼1	
	医療概論	2前		2		1						
	健康管理概論	2後	2								兼1	
	公衆衛生学	2前	2			1						
	公衆衛生学実習	2後	1			1					兼1	
	保健医療福祉行政論Ⅰ	3後	1								兼1	
	保健医療福祉行政論Ⅱ	4前		2							兼2	
	小計(9科目)	—	7	6	0	3	0	0	0	0		兼6
専門基礎科目	形態機能学Ⅰ	1前	2								兼1	
	形態機能学Ⅱ	1後	2								兼1	
	形態機能学実習Ⅰ	2前	1								兼1	
	形態機能学実習Ⅱ	2後	1								兼1	
	有機化学	1前		2		1				1		
	病理学	2前	2								兼1	
	微生物学	1後	2			1						
	微生物学実験	1後	1			1						
	生化学Ⅰ	1後	2			1						
	生化学Ⅱ	2前	2			1						
	生化学実験	2前	1			1			1			
	病態診療学Ⅰ	2後	2			1						
	病態診療学Ⅱ	3前	2			1						
小計(13科目)	—	20	2	0	3	0	1	0	0		兼2	





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、以下の単位を修得すること											
科目区分	基礎	専門基礎	専門	小計							
必修単位	16単位	40単位	45単位	101単位							
選択単位	11単位以上	4単位以上	7単位以上	22単位以上							
選択必修単位	—	—	1単位	1単位							
小計	27単位以上	44単位以上	53単位以上	124単位以上							
合計	124単位以上										
※履修科目登録の上限(年間)：45単位											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
栄養教諭一種免許取得に必要な科目	教職概論	1前			2	1						兼1
	教育原理	1後			1	1						兼1
	教育制度論	1後			1							兼1
	教育課程論	2前			1							兼1
	教育方法論	2前			1							兼1
	道徳教育論	2前			1							兼1
	特別活動・総合的学習指導論	2後			1							兼1
	生徒指導論	2後			1							兼1
	特別支援教育概論	3後			1	1						兼1
	教育心理学	3前			2	1						兼1
	教育相談論	3後			2							兼1
	※養教育実習事前・事後指導	4通			1	1	1					
	栄養教育実習	4通			1	1	1					
	教職実践演習	4後			2	1	1					
合計(14科目)		—	0	0	18	2	1	0	0	0	0	兼8
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、以下の単位を修得すること												
科目区分	基礎	専門基礎	専門	小計								
必修単位	16単位	40単位	45単位	101単位								
選択単位	11単位以上	4単位以上	7単位以上	22単位以上								
選択必修単位	—	—	1単位	1単位								
小計	27単位以上	44単位以上	53単位以上	124単位以上								
合計	124単位以上											
※履修科目登録の上限(年間)：45単位												

【平成29年度】

Table for 平成29年度 showing course details, units, and staff for various subjects like '基礎教育科目' and '専門基礎科目'.

【平成30年度】

Table for 平成30年度 showing course details, units, and staff for various subjects like '基礎教育科目' and '専門基礎科目'.



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、以下の単位を修得すること											
科目区分	基礎	専門基礎	専門	小計							
必修単位	16単位	40単位	45単位	101単位							
選択単位	11単位以上	4単位以上	7単位以上	22単位以上							
選択必修単位	—	—	1単位	1単位							
小計	27単位以上	44単位以上	53単位以上	124単位以上							
合計	124単位以上										
※履修科目登録の上限(年間)：45単位											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ①基礎教育科目「学びの理解」 兼任新川教授退職のため、担当コマ数を兼任稲葉教授へ変更  
 ②基礎教育科目「現代社会論」 兼任新川教授退職のため、兼任田島講師に変更  
 ③基礎教育科目「国際社会論」 兼任新川教授退職のため、兼任田島講師に変更  
 ④基礎教育科目「教育学」 担当者を兼任小島講師から兼任所講師に変更

【平成30年度】

- ①基礎教育科目「心理学」、専門基礎科目「生涯発達論」の担当を兼任小島講師から専任小島康次教授に変更  
 ②基礎教育科目「教育学」の担当を兼任所講師から専任所伸一教授に変更  
 ③専門基礎科目「医療概論」、「病態診療学Ⅰ」、「病態診療学Ⅱ」、専門科目「総合演習Ⅱ」、「卒業研究」担当の専任寺井悟教授が  
 ■により就任を辞退したため、専任千葉仁志教授に変更  
 ④専門基礎科目「生化学実験」、専門科目「英語文献講読演習」担当の専任米代武司助教が■により就任を辞退したため、  
 専任津久井隆行講師に変更  
 ⑤基礎教育科目「生物学」の担当を兼任阿部講師から専任津久井隆行講師に変更  
 ⑥基礎教育科目「基礎化学」、専門教育科目「有機化学」の担当を専任森山隆則教授から専任津久井隆行講師に変更  
 ⑦基礎教育科目「情報リテラシー」を教職関係の科目として追加し、担当を兼任末光教授とした。  
 ⑧基礎教育科目「スポーツ科学と運動」「スポーツ理論」の担当を学園内の専門学校に適任者が着任したため、兼任平井講師から兼任中  
 川講師に変更  
 ⑨基礎教育科目「法と人権」の担当を本務校の勤務の関係から兼任李講師から兼任神元講師に変更  
 ⑩専門科目「食生活論」「食育指導論」の担当を教職課程の認可の関係から兼任山際講師から、兼任山際講師、兼任菅原講師のオムニバ  
 スに変更  
 ⑪栄養教諭一種免許状取得に必要な科目を追加した。(平成29年12月課程認定)  
 ア「教職概論」の担当は専任所伸一教授と兼任前田講師のオムニバス  
 イ「教育原理」「栄養教育実習事前・事後指導」「栄養教育実習」「教職実践演習」の担当は専任所伸一教授  
 ウ「教育心理学」の担当は専任小島康次教授  
 エ「教育制度論」の担当は兼任篠原講師  
 オ「教育課程論」の担当は兼任若菜講師  
 カ「教育方法論」の担当は兼任倉賀野講師  
 キ「道徳教育論」の担当は兼任塚本講師  
 ク「特別活動論」「生徒指導論」の担当は兼任桑原講師  
 ケ「教育相談論」の担当は兼任川俣講師とした。

【令和元年度】

- ①基礎教育科目「英語Ⅰ(基礎)」の担当者を履修人数の関係から兼任大西講師を追加  
 ②基礎教育科目「英語Ⅱ(会話)」の担当者を履修人数の関係から兼任Kevin Scott講師を追加  
 ③教職課程科目「特別支援教育概論」について教育職員免許法・同施行規則の一部改正の関係から追加、担当は専任小島教授及び兼任今  
 野講師  
 ④教職課程科目「特別活動・総合的学習指導論」について教育職員免許法・同施行規則の一部改正の関係から追加、担当は兼任桑原講師

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(記当年次の変更、専任教員等の配置の変更、  
 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
67 科目	32 科目	0 科目	99 科目	67 科目 [ 0 ]	33 科目 [ 1 ]	14 科目 [ 14 ]	114 科目 [ 15 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を  
 記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{99} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場用地は校舎敷地 と別地（距離1km・徒 歩10分） 学生駐車場1,652.89㎡ （借用期間：平成24年 12月1日～令和14年12 月31日）			
	校 舎 敷 地	10,449.00㎡	0㎡	0㎡	10,499.00㎡				
	運 動 場 用 地	21,600.00㎡	0㎡	0㎡	21,600.00㎡				
	小 計	32,049.00㎡	0㎡	0㎡	32,049.00㎡				
	そ の 他	3,809.89㎡	0㎡	0㎡	3,809.89㎡				
	合 計	35,858.89㎡	0㎡	0㎡	35,858.89㎡				
(2) 校 舎	専 用	14,250.70㎡	0㎡	0㎡	14,250.70㎡				
	(11,110.32㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(11,110.32㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	10室	20室	11室	3室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	保健医療学部 栄養学科			20 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	予定よりも多くの図書 を購入したため(30)	
	保健医療学部 栄養学科	9,000 [350] 7,477 (8,777 [331]) <del>(8,504 [316])</del> <del>(6,677 [270])</del>	65 [ 25] ( 58 [ 19]) <del>( 53 [ 17])</del> ( 47 )	19 [ 19] ( 11 [ 11])	80 ( 80)	1,629 ( 1,605) <del>( 1,569)</del> ( 1,549)	15 ( 15)		
	計	9,000 [350] 7,477 (8,777 [331]) <del>(8,504 [316])</del> <del>(6,677 [270])</del>	65 [ 25] ( 58 [ 19]) <del>( 53 [ 17])</del> ( 47 )	19 [ 19] ( 11 [ 11])	80 ( 80)	1,629 ( 1,605) <del>( 1,569)</del> ( 1,549)	15 ( 15)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	706.10㎡		108席		37,870冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	611.92㎡		該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	467千円	467千円	図書購入費	29,786千円	3,000千円	3,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	208,467千円	2,000千円	2,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,350千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称										備 考
札幌保健医療大学										
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
<u>保健医療学部</u>										
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.08	—	平成25年度	北海道札幌市東区	
栄養学科	4	80	3 若干	320	学士 (栄養学)	0.34	—	平成29年度	同上	
大学 の 名 称										備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 （専攻科及び別科を除く）。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。



5 教員組織の状況

<保健医療学部 栄養学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	森山 隆則 (67) <平成29年4月>	基礎化学 有機化学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	寺井 格 (67) <平成29年4月>	医療概論 病態診療学Ⅰ 病態診療学Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	荒川 義人 (64) <平成29年4月>	食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ 食品科学Ⅲ 食品科学実験Ⅰ 食品科学実験Ⅱ 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	坂本 恵 (56) <平成29年4月>	調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 管理栄養士総合演習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	久保 ちづる (66) <平成29年4月>	学びの理解※ 管理栄養士論※ 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	教授	高橋 正子 (69) <平成29年4月>	管理栄養士論※ 給食経営管理論Ⅰ※ 給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	教授	高島 郁夫 (69) <平成29年4月>	公衆衛生学 公衆衛生学実習 微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ 卒業研究

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	森山 隆則 (67) <平成29年4月>	基礎化学 有機化学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	寺井 格 (67) <平成29年4月>	医療概論 病態診療学Ⅰ 病態診療学Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	荒川 義人 (64) <平成29年4月>	食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ 食品科学Ⅲ 食品科学実験Ⅰ 食品科学実験Ⅱ 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	坂本 恵 (56) <平成29年4月>	調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 管理栄養士総合演習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	久保 ちづる (66) <平成29年4月>	学びの理解※ 管理栄養士論※ 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	教授	高橋 正子 (69) <平成29年4月>	管理栄養士論※ 給食経営管理論Ⅰ※ 給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	教授	高島 郁夫 (69) <平成29年4月>	公衆衛生学 公衆衛生学実習 微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ 卒業研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	森山 隆則 (68) <平成29年4月>	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	千葉 仁志 (64) <平成30年4月>	医療概論 病態診療学Ⅰ 病態診療学Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	荒川 義人 (65) <平成29年4月>	食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ 食品科学Ⅲ 食品科学実験Ⅰ 食品科学実験Ⅱ 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	坂本 恵 (57) <平成29年4月>	調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 管理栄養士総合演習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	久保 ちづる (67) <平成29年4月>	学びの理解※ 管理栄養士論※ 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	教授	高橋 正子 (70) <平成29年4月>	管理栄養士論※ 給食経営管理論Ⅰ※ 給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	教授	高島 郁夫 (70) <平成29年4月>	公衆衛生学 公衆衛生学実習 微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ 卒業研究

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	森山 隆則 (69) <平成29年4月>	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	千葉 仁志 (65) <平成30年4月>	医療概論 病態診療学Ⅰ 病態診療学Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	荒川 義人 (66) <平成29年4月>	食品科学Ⅰ 食品科学Ⅱ 食品科学Ⅲ 食品科学実験Ⅰ 食品科学実験Ⅱ 総合演習Ⅱ 英語文獻講義演習 卒業研究
専	教授	坂本 恵 (58) <平成29年4月>	調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 管理栄養士総合演習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	久保 ちづる (68) <平成29年4月>	学びの理解※ 管理栄養士論※ 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	教授	高橋 正子 (71) <平成29年4月>	管理栄養士論※ 給食経営管理論Ⅰ※ 給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	教授	高島 郁夫 (71) <平成29年4月>	公衆衛生学 公衆衛生学実習 微生物学 微生物学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 総合演習Ⅱ 卒業研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 昌樹 (60) <平成29年4月>
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	岡本 智子 (59) <平成31年4月>
		栄養カウンセリング演習 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	准教授	石川 いづみ (48) <平成29年4月>
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	田尻 典子 (36) <平成29年4月>
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 食品機能学 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	榎本 浩司 (51) <平成31年4月>
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 地域栄養活動演習 総合演習Ⅱ 卒業研究 公衆栄養学実習Ⅱ
専	講師	渡辺 いつみ (36) <平成29年4月>
		給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	助教	米代 武司 (32) <平成29年4月>
		生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文献購読演習

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 昌樹 (60) <平成29年4月>
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
兼任	講師	所 伸一 (68) <平成29年4月>
		教育学
専	准教授	岡本 智子 (59) <平成31年4月>
		栄養カウンセリング演習 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	准教授	百々瀬 いづみ (48) <平成29年4月>
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	田尻 典子 (36) <平成29年4月>
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 食品機能学 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	榎本 浩司 (51) <平成31年4月>
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 地域栄養活動演習 総合演習Ⅱ 卒業研究 公衆栄養学実習Ⅱ
専	講師	渡辺 いつみ (36) <平成29年4月>
		給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	助教	米代 武司 (32) <平成29年4月>
		生化学実験 総合演習Ⅱ 英語文献購読演習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 昌樹 (61) <平成29年4月>
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	所 伸一 (69) <平成30年4月>
		教育学 教職概論 教育原理 栄養教育実習事前・事後指導 栄養教育実習 教職実践演習
専	准教授	岡本 智子 (60) <平成31年4月>
		栄養カウンセリング演習 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	准教授	百々瀬 いづみ (49) <平成29年4月>
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習 総合演習Ⅱ 卒業研究 栄養教育実習事前・事後指導 栄養教育実習 教職実践演習
専	講師	田尻 典子 (37) <平成29年4月>
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 食品機能学 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	榎本 浩司 (52) <平成31年4月>
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 地域栄養活動演習 総合演習Ⅱ 卒業研究 公衆栄養学実習Ⅱ
専	講師	渡辺 いつみ (37) <平成29年4月>
		給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	講師	津久井 隆行 (34) <平成30年4月>
		生物学 基礎化学 有機化学 生化学実験 食品科学Ⅲ 英語文献購読演習

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	千葉 昌樹 (62) <平成29年4月>
		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	所 伸一 (70) <平成30年4月>
		教育学 教職概論 教育原理 栄養教育実習事前・事後指導 栄養教育実習 教職実践演習
専	准教授	岡本 智子 (61) <平成31年4月>
		栄養カウンセリング演習 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅲ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨床栄養学実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ
専	准教授	百々瀬 いづみ (50) <平成29年4月>
		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習 総合演習Ⅱ 卒業研究 栄養教育実習事前・事後指導 栄養教育実習 教職実践演習
専	講師	田尻 典子 (38) <平成29年4月>
		基礎栄養学 基礎栄養学実験 食品機能学 総合演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	榎本 浩司 (53) <平成31年4月>
		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習Ⅰ 地域栄養活動演習 総合演習Ⅱ 卒業研究 公衆栄養学実習Ⅱ
専	講師	渡辺 いつみ (38) <平成29年4月>
		給食経営管理論Ⅱ※ 給食経営管理論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 給食経営管理論実習Ⅱ 給食経営管理論実習Ⅲ
専	講師	津久井 隆行 (35) <平成30年4月>
		生物学 基礎化学 有機化学 生化学実験 食品科学Ⅲ 英語文献購読演習

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授 (学長)	稲葉 佳江 (66) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	教授	松尾 文子 (58) <平成29年4月>
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅲ(読解) 英語Ⅳ(総合)
兼任	教授	新川 加奈子 (59) <平成29年4月>
		学びの理解※ 現代社会論 国際社会論
兼任	教授 (学長)	稲葉 佳江 (66) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	講師	田島 忠篤 (62) <平成29年4月>
		現代社会論 国際社会論
兼任	准教授	末光 厚夫 (41) <平成29年4月>
		情報処理 統計分析法
兼任	教授	小林 清一 (68) <平成30年4月>
		病理学 健康管理概論 免疫と栄養
兼任	教授	近藤 明代 (57) <平成32年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅱ ※
兼任	講師	山田 邦雅 (43) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	講師	飯田 直弘 (38) <平成29年4月>
		学びの理解※

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授 (学長)	稲葉 佳江 (66) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	教授	松尾 文子 (58) <平成29年4月>
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅲ(読解) 英語Ⅳ(総合)
兼任	教授	稲葉 佳江 (66) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	講師	田島 忠篤 (62) <平成29年4月>
		現代社会論 国際社会論
兼任	准教授	末光 厚夫 (41) <平成29年4月>
		情報処理 統計分析法
兼任	教授	小林 清一 (68) <平成30年4月>
		病理学 健康管理概論 免疫と栄養
兼任	教授	近藤 明代 (57) <平成32年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅱ ※
兼任	講師	飯田 直弘 (38) <平成29年4月>
		学びの理解※

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授 (学長)	稲葉 佳江 (67) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	教授	松尾 文子 (59) <平成29年4月>
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅲ(読解) 英語Ⅳ(総合)
兼任	教授 (学長)	稲葉 佳江 (67) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	講師	田島 忠篤 (63) <平成29年4月>
		現代社会論 国際社会論
兼任	教授	小林 清一 (69) <平成30年4月>
		病理学 健康管理概論 免疫と栄養
兼任	教授	近藤 明代 (58) <平成32年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅱ ※
兼任	講師	飯田 直弘 (39) <平成29年4月>
		学びの理解※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	稲葉 佳江 (68) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	教授	松尾 文子 (60) <平成29年4月>
		英語Ⅰ(基礎) 英語Ⅲ(読解) 英語Ⅳ(総合)
兼任	講師	大西 三圭子 (69) <平成31年4月>
		英語Ⅰ(基礎)
兼任	教授	稲葉 佳江 (68) <平成29年4月>
		学びの理解※
兼任	講師	田島 忠篤 (64) <平成29年4月>
		現代社会論 国際社会論
兼任	教授	末光 厚夫 (43) <平成29年4月>
		情報処理 統計分析法 情報リテラシー
兼任	教授 (学長)	小林 清一 (70) <平成30年4月>
		病理学 健康管理概論 免疫と栄養
兼任	教授	近藤 明代 (59) <平成32年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅱ ※
兼任	講師	飯田 直弘 (40) <平成29年4月>
		学びの理解※

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	崔 昌鳳 (48) <平成29年4月>
		論理的思考
兼任	講師	阿部 真知子 (57) <平成29年4月>
		生物学
兼任	講師	David Flenner (44) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	Kevin Scott Litton(54) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	高木 維 (36) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
兼任	講師	安永 立子 (52) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
兼任	講師	小島 康次 (67) <平成29年4月>
		心理学 生涯発達論 教育学
兼任	講師	村上 友一 (47) <平成29年4月>
		倫理学
兼任	講師	山内 太郎 (48) <平成29年4月>
		生態学
兼任	講師	平井 敏幸 (54) <平成29年4月>
		スポーツ科学と運動 スポーツ理論

## 【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	崔 昌鳳 (48) <平成29年4月>
		論理的思考
兼任	講師	阿部 真知子 (57) <平成29年4月>
		生物学
兼任	講師	David Flenner (44) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	Kevin Scott Litton(54) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	高木 維 (36) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
兼任	講師	安永 立子 (52) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
兼任	講師	小島 康次 (67) <平成29年4月>
		心理学 生涯発達論
兼任	講師	村上 友一 (47) <平成29年4月>
		倫理学
兼任	講師	山内 太郎 (48) <平成29年4月>
		生態学
兼任	講師	平井 敏幸 (54) <平成29年4月>
		スポーツ科学と運動 スポーツ理論

## 【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	崔 昌鳳 (49) <平成29年4月>
		論理的思考
兼任	講師	David Flenner (45) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	高木 維 (37) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
専 教授	専 教授	小島 康次 (68) <平成30年4月>
		心理学 生涯発達論 教育心理学
兼任	講師	村上 友一 (48) <平成29年4月>
		倫理学
兼任	講師	山内 太郎 (49) <平成29年4月>
		生態学
兼任	講師	立澤 史郎 (59) <平成31年4月>
		生態学
兼任	講師	平井 敏幸 (54) <平成29年4月>
		スポーツ科学と運動 スポーツ理論

## 【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	崔 昌鳳 (50) <平成29年4月>
		論理的思考
兼任	講師	David Flenner (46) <平成29年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	Kevin Scott Litton(56) <平成31年4月>
		英語Ⅱ(会話)
兼任	講師	高木 維 (38) <平成29年4月>
		表現技法Ⅰ(読解・分析) 表現技法Ⅱ(討議・発表)
専 教授	専 教授	小島 康次 (69) <平成30年4月>
		心理学 生涯発達論 教育心理学 特別支援教育概論※
兼任	講師	村上 友一 (49) <平成29年4月>
		倫理学
兼任	講師	立澤 史郎 (59) <平成31年4月>
		生態学
兼任	講師	平井 敏幸 (54) <平成29年4月>
		スポーツ科学と運動 スポーツ理論

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	澤井 玄 (52) <平成29年4月>
		地域社会文化論
兼任	講師	吉野 淳一 (59) <平成29年4月>
		人間関係論
兼任	講師	斉藤 昌之 (74) <平成29年4月>
		形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学実習Ⅰ 形態機能学実習Ⅱ
兼任	講師	神内 秀之介 (45) <平成30年4月>
		社会貢献と活動
兼任	講師	佐々木 胤則 (64) <平成30年4月>
		生活環境論
兼任	講師	蔵田 伸雄 (53) <平成30年4月>
		生命倫理
兼任	講師	李 妍淑 (43) <平成29年4月>
		法と人権

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	澤井 玄 (52) <平成29年4月>
		地域社会文化論
兼任	講師	吉野 淳一 (59) <平成29年4月>
		人間関係論
兼任	講師	斉藤 昌之 (74) <平成29年4月>
		形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学実習Ⅰ 形態機能学実習Ⅱ
兼任	講師	神内 秀之介 (45) <平成30年4月>
		社会貢献と活動
兼任	講師	佐々木 胤則 (64) <平成30年4月>
		生活環境論
兼任	講師	蔵田 伸雄 (53) <平成30年4月>
		生命倫理

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	中川 尚之 (61) <平成30年4月>
		スポーツ科学と運動 スポーツ理論
兼任	講師	澤井 玄 (53) <平成29年4月>
		地域社会文化論
兼任	講師	吉野 淳一 (60) <平成29年4月>
		人間関係論
兼任	講師	斉藤 昌之 (75) <平成29年4月>
		形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学実習Ⅰ 形態機能学実習Ⅱ
兼任	講師	神内 秀之介 (46) <平成30年4月>
		社会貢献と活動
兼任	講師	佐々木 胤則 (65) <平成30年4月>
		生活環境論
兼任	講師	蔵田 伸雄 (54) <平成30年4月>
		生命倫理

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本 なお子 (41) <平成31年4月>
		スポーツ科学と運動
兼任	講師	平間 康允 (35) <平成31年4月>
		スポーツ理論
兼任	講師	澤井 玄 (54) <平成29年4月>
		地域社会文化論
兼任	講師	吉野 淳一 (61) <平成29年4月>
		人間関係論
兼任	講師	斉藤 昌之 (76) <平成29年4月>
		形態機能学Ⅰ 形態機能学Ⅱ 形態機能学実習Ⅰ 形態機能学実習Ⅱ
兼任	講師	神内 秀之介 (47) <平成30年4月>
		社会貢献と活動
兼任	講師	佐々木 胤則 (66) <平成30年4月>
		生活環境論
兼任	講師	森口 眞衣 (45) <平成31年4月>
		生命倫理

## 【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	八島 絵美 (53) <平成30年4月>
		栄養教育論Ⅱ
兼任	講師	小松 信隆 (49) <平成31年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	片倉 洋子 (71) <平成31年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ※
兼任	講師	山際 睦子 (73) <平成31年4月>
		食生活論 食育指導論
兼任	講師	橋本 佳菜 (34) <平成32年4月>
		文学と人間
兼任	講師	奥村 昌子 (44) <平成32年4月>
		国際栄養学

## 【平成29年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	神元 隆賢 (46) <平成29年4月>
		法と人権
兼任	講師	八島 絵美 (53) <平成30年4月>
		栄養教育論Ⅱ
兼任	講師	小松 信隆 (49) <平成31年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	片倉 洋子 (71) <平成31年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ※
兼任	講師	山際 睦子 (73) <平成31年4月>
		食生活論 食育指導論
兼任	講師	橋本 佳菜 (34) <平成32年4月>
		文学と人間
兼任	講師	奥村 昌子 (44) <平成32年4月>
		国際栄養学

## 【平成30年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	神元 隆賢 (47) <平成29年4月>
		法と人権
兼任	講師	八島 絵美 (54) <平成30年4月>
		栄養教育論Ⅱ
兼任	講師	小松 信隆 (50) <平成31年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	片倉 洋子 (72) <平成31年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ※
兼任	講師	山際 睦子 (74) <平成31年4月>
		食生活論※ 食育指導論※
兼任	講師	菅原 千鶴子 (70) <平成31年4月>
		食生活論※ 食育指導論※
兼任	講師	橋本 佳菜 (35) <平成32年4月>
		文学と人間
兼任	講師	奥村 昌子 (45) <平成32年4月>
		国際栄養学
兼任	講師	川俣 智路 (38) <平成31年4月>
		教育相談論
兼任	講師	倉賀野 志郎 (67) <平成30年4月>
		教育方法論

## 【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	神元 隆賢 (48) <平成29年4月>
		法と人権
兼任	講師	八島 絵美 (55) <平成30年4月>
		栄養教育論Ⅱ
兼任	講師	小松 信隆 (51) <平成31年4月>
		スポーツ栄養学
兼任	講師	片倉 洋子 (73) <平成31年4月>
		保健医療福祉行政論Ⅰ 保健医療福祉行政論Ⅱ※
兼任	講師	山際 睦子 (75) <平成31年4月>
		食生活論※ 食育指導論※
兼任	講師	菅原 千鶴子 (71) <平成31年4月>
		食生活論※ 食育指導論※
兼任	講師	橋本 佳菜 (36) <平成32年4月>
		文学と人間
兼任	講師	奥村 昌子 (46) <平成32年4月>
		国際栄養学
兼任	講師	濱岡 直裕 (52) <平成31年4月>
		公衆衛生学実習
兼任	講師	川俣 智路 (39) <平成31年4月>
		教育相談論
兼任	講師	倉賀野 志郎 (68) <平成30年4月>
		教育方法論

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						兼任	講師	桑原 清 (67) <平成30年4月> 特別活動論 生徒指導論	兼任	講師	桑原 清 (68) <平成30年4月> 特別活動・総合的学習 指導論 特別活動論 生徒指導論
						兼任	講師	篠原 岳司 (40) <平成30年4月> 教育制度論	兼任	講師	篠原 岳司 (41) <平成30年4月> 教育制度論
						兼任	講師	塚本 智宏 (62) <平成30年4月> 道徳教育論	兼任	講師	塚本 智宏 (63) <平成30年4月> 道徳教育論
						兼任	講師	前田 賢次 (51) <平成30年4月> 教職概論	兼任	講師	前田 賢次 (52) <平成30年4月> 教職概論
						兼任	講師	若菜 博 (67) <平成30年4月> 教育課程論	兼任	講師	若菜 博 (68) <平成30年4月> 教育課程論
									兼任	講師	今野 邦彦 (59) <平成31年4月> 特別支援教育概論

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
  - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
  - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ①兼任新川教授退職のため、「学びの理解」担当コマ数を兼任稲葉教授に変更、「現代社会論」「国際社会論」は兼任田島講師に変更  
②「教育学」の担当を兼任小島講師から兼任所講師に変更

【平成30年度】

- ①兼任小島康次講師が専任教授に変更(平成29年10月教員審査済)  
「心理学」「生涯発達論」「教育心理学」  
②兼任所伸一講師が専任教授に変更(平成29年10月教員審査済)  
「教職概論」「教育原理」「教育学」「教職実践演習」「栄養教育実習事前・事後指導」「栄養教育実習」「卒業研究」  
③専任寺井悟教授がにより就任を辞退したため、専任千葉仁志教授に変更(平成29年6月教員審査済)  
「医療概論」「病態診療学Ⅰ」「病態診療学Ⅱ」「免疫と栄養」「総合演習Ⅱ」「卒業研究」  
④専任米代武司助教がにより就任を辞退したため、専任津久井隆行講師に変更(平成29年10月教員審査済)  
「基礎化学」「有機化学」「生化学実験」「生物学」「食品科学Ⅲ」「英語文献講読演習」「卒業研究」  
⑤兼任末光教授を教職関係科目「情報リテラシー」で追加  
⑥学園内の専門学校に適任者が着任したため、兼任平井講師から兼任中川講師に変更  
「スポーツ科学と運動」「スポーツ理論」  
⑦本務校の勤務の関係から兼任山田講師から兼任飯田講師に変更「学びの理解」  
⑧本務校の勤務の関係から兼任李講師から兼任神元講師に変更「法と人権」  
⑨教職課程の認可の関係から兼任山際講師から、兼任山際講師、兼任官原講師のオムニバスに変更「食生活論」「食育指導論」  
⑩兼任前田講師を教職課程関係科目「教職概論」で追加  
⑪兼任篠原講師を教職課程関係科目「教育制度論」で追加  
⑫兼任若菜講師を教職課程関係科目「教育課程論」で追加  
⑬兼任倉賀野講師を教職課程関係科目「教育方法論」で追加  
⑭兼任塚本講師を教職課程関係科目「道徳教育論」で追加  
⑮兼任桑原講師を教職課程関係科目「特別活動論」「生徒指導論」で追加  
⑯兼任川俣講師を教職課程関係科目「教育相談論」で追加

【令和元年度】

- ①兼任大西講師を基礎教育科目「英語Ⅰ(基礎)」で追加  
②兼任Kevin Scott講師を基礎教育科目「英語Ⅱ(会話)」で追加  
③本務校の勤務の関係から兼任山内講師から兼任立澤講師に変更「生態学」  
④本務校の勤務の関係から兼任中川講師から「スポーツ科学と運動」を兼任岡野講師、「スポーツ理論」を兼任平間講師に変更  
⑤本務校の勤務の関係から兼任蔵田講師から兼任森口講師に変更「生命倫理」  
⑥専任小島教授及び兼任今野講師を教育職員免許法・同施行規則の一部改正の関係から教職課程科目「特別支援教育概論」で追加  
⑦兼任桑原講師を教育職員免許法・同施行規則の一部改正の関係から教職課程科目「特別活動・総合的学習指導論」で追加

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。  
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。



(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	2	3	1	14	10	2	4	1	17
(7)	(1)	(2)	(0)	(10)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
10	2	4	1	17	10	2	4	1	17
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 3 ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
 （記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	6 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{14} = \boxed{121.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{6}{17} = \boxed{35.29} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1. 大学の所見  
 (1) 後任の専任教員を採用(平成29年6月及び10月の教員資格審査提出)し対応した。(29)

2. 学生への周知方法  
 (1) 在学生については、4月2日のガイダンス、新入生については4月4・5日に実施した入学オリエンテーションにおいて学生にシラバスを配布することにより周知した。(30)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	寺井 格	平成 29年 4月	選択	医療概論	①				
				必修	病態診療学Ⅰ	①				
				必修	病態診療学Ⅱ	①				
				必修	総合演習Ⅱ	①				
				必修	卒業研究	①				
2	助教	米代 武司	平成 29年 10月	必修	生化学実験	①				
				必修	総合演習Ⅱ	①				
				選択	英語文献講読演習	①				
合計（D）				後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	6 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	8 科目	計	8 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{14} = \boxed{14.28} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1. 大学の所見  
 (1) 後任の専任教員を採用(平成29年6月及び10月の教員資格審査提出)し対応した。(29)

2. 学生への周知方法  
 (1) 在学生については、4月2日のガイダンス、新入生については4月4・5日に実施した入学オリエンテーションにおいて学生にシラバスを配布することにより周知した。(30)

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (28年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 設置認可申請書の記載通り教員組織編成計画が確実に履行出来るよう情報収集を行うとともに基礎教育科目の化学系で若手の専任教員1名を採用した。(30)	履行中 教員組織編成がスムーズに若返りが図れるよう、現在、学長、学部長、学科長、事務局長により留意事項・改善意見の趣旨を踏まえて、採用計画の準備を行っている。(30)
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	保健医療学部栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	是正意見 北海道内の志望する保護者及び高校生に対して、本学の保健医療学部栄養学科が十分周知されていないとの判断から、CM放映、高校訪問等を積極的に実施した。(30)	履行中 保健医療学部栄養学科の入学定員未充足を重く受けとめ、入学試験制度においては、平成31年度入学試験より総合型選抜入学試験及び編入学試験の導入、一般選抜入学試験及び大学入試センター利用入学試験における受験科目の軽減等の変更を行う。さらに広報活動においては、オープンキャンパスの開催回数の増加、高校訪問校数の増加、進路相談会の参加回数の増加を図り、栄養学科の認知度を高めるとともに、受験機会の拡大化を行う。また、入学定員の見直しについては、北海道内大学の栄養学科への志望者の動向を注視しながら、学内で検討を開始する。(30)
	保健医療学部栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 設置認可申請書の記載通り教員組織編成計画が確実に履行出来るよう情報収集を行うとともに基礎教育科目の化学系で若手の専任教員1名を採用した。(30)	履行中 教員組織編成がスムーズに若返りが図れるよう、現在、学長、学部長、学科長、事務局長により留意事項・改善意見の趣旨を踏まえて、採用計画の準備を行っている。(30)
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)	平均入学定員充足率が0.29倍と著しく低い。学生確保に努めるとともに、長期的な学生確保の見直しを客観的根拠に基づき分析し、入学定員について見直しも検討しつつ、収容定員の充足に努めること。	指摘事項 (是正) 学生確保に向けて、広報活動と入試制度の見直しを積極的に進めている。 (1) 広報活動では本学栄養学科の理解が高校生に十分周知されていないとの反省に基づき、高校訪問の学校数を平成29年度146校から平成30年度184校へ、高校個別および業者主催の進学相談会への参加数も88回から97回へ増やした。栄養学科のオープンキャンパスも開催回数を5回から8回へ増加させた。また、本学栄養学科の社会的認知	履行中 (1) 広報活動においては、平成30年度の活動に加え、本学をより理解してもらうためにホームページのリニューアルを行うとともに、大学案内をより読みやすいようにリライトする。その中で本学栄養学科の特徴である「実践的栄養教育（臨床栄養、食育・栄養教育、スポーツ栄養）の礼保大」を高校生がイメージできるように工夫する。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (30年)</p>	<p>指摘事項 (是正)</p>	<p>度をより向上させるために本学ホームページやSNS、オープンキャンパスを利用して以下の情報発信を行っている。</p> <p>1) スポーツ栄養学の視点からの活動：栄養サポート協定を締結しているプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」とユースチームU-15の選手に対する栄養管理とスポーツ栄養教育の実践状況</p> <p>2) 大学農場「ウィルファーム」を利用して、食物生産現場から始める食育教育活動</p> <p>3) 地域の児童会館での「子ども食堂」の運営を通じた給食経営管理教育の実践活動</p> <p>(2) 入学試験制度においては、従来の学校推薦型選抜入学試験、一般選抜入学試験、大学入試センター利用入学試験に加え、2019年度入学試験から総合型選抜入学試験、編入学試験を新たに追加実施し、受験生の受験機会の拡大を図った。</p> <p>広報活動と入試制度の見直しを進めた結果、今年度は過去2ヶ年と比較して以下の改善が認められた。</p> <p>(1) 高校3年生の栄養学科希望者：栄養学科オープンキャンパスの実施回数を増やしたことにより、参加者は、平成28年度41名、平成29年度107名、平成30年度179名と急増した。進学相談会参加者においても、平成28年度7名、平成29年度73名、平成30年度134名と着実に増加しており、高校生による本学栄養学科の認知度が浸透してきたことが窺える。</p> <p>(2) 志願者数(受験者数)においては、平成29年度63名、平成30年度47名、2019年度は82名と増加に転じた。</p>	<p>(2) 入学試験制度においては、2019年度の学校推薦型選抜入学試験、一般選抜入学試験、大学入試センター利用入学試験、総合型選抜入学試験、編入学試験に加え、さらなる受験生の受験機会の拡大を図る観点から社会人入学試験を制度化するとともに、他の新たな入学試験制度も並行して検討する。</p> <p>(3) 札幌市立高等学校教員と本学教職員とが連携して食育学習の教育活動を展開する高大連携・接続プログラムの一つである「アニメドーレ」の実施および充実を図り、積極的に支援する。将来的には札幌市立高等学校8校との連携を視野に入れているが、今年度は以下の3校との連携を予定している。</p> <p>1) 市立札幌大通高等学校「キャリア探求1単位」</p> <p>2) 市立札幌開成中等教育学校「キャリアライフデザイン1単位」</p> <p>3) 市立札幌藻岩高等学校「課外授業」</p> <p>具体的には、食育学習の実践の場として本学の農場(ウィルファーム)の一部を提供し、本学栄養学科学生と教職員が高校生の食育学習を実践的に支援することにより、本学栄養学科と履修する高校生との関係性を構築する。</p> <p>(4) 入学定員の見直しについては、高校訪問時に栄養系の進学希望者数および本学栄養学科進学希望者数を正確に把握し、北海道内の栄養系大学の入学定員を勘案しながら、検討を進めていく。(元)</p>

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (30年)		(3) 入学定員充足率については、入学定員80名に対して、開設年度の平成29年度は26名(0.325)、平成30年度は22名(0.275)であり、2年間の入学定員充足率の平均0.3(48名/160名)であった。しかし、2019年度は入学定員には満たないものの前年度より14名増の36名(0.45)が入学した。この結果、過去3年間の平均入学定員充足率は0.35(84名/240名)となり改善傾向がみられている。また、2019年度から新たな入学試験制度として3年次編入学試験を実施し、4名が入学した。編入生も加えると、栄養学科の平均定員充足率は0.366となった。 (元)	
	指摘事項 (是正)		
	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえつつ適切な教員組織の編制に努めること。	(1) 設置計画申請書の記載のとおり教員組織編成計画が確実に履行できよう情報収集を進めている。平成29年度に基礎教育・専門基礎教育科目の化学系で若手の専任教員1名を採用した。(元)	(1) 完成年度の翌年となる2021年4月に向けて、基礎教育・専門基礎教育科目の教授1名、専門基礎教育科目の教授1名、専門教育科目の教授1名の後任採用を進めるとともに2022年4月に向けて基礎教育・教職課程の教授2名の後任採用を進める。指摘事項(改善)の趣旨を踏まえて、適正な教員組織編制にスムーズに移行できるよう公募を含めた教員募集活動の計画を進める。(元)
	指摘事項 (改善)	履行中	

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。



## 7 その他全般的事項

### <保健医療学部 栄養学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>1) 学則 当初、計画していなかった転入学・科目履修生の追加及び、入学試験制度の変更を行った。</p> <p>2) 学則 認証評価を受審し、日本高等教育評価機構より指摘を受けた内容と入学試験制度の変更を行った。</p> <p>3) 入学試験制度 当初、計画していなかった社会人入学制度を追加した。</p>	<p>1) 学則の変更(平成30年10月1日改正) ①転入学を設けることに伴い、第40条に規定した。 ②科目履修生を設けることに伴い、第47条に規定した。 ③入学試験制度(総合型選抜入学・編入学)を追加することに伴い、別表5の試験区分を「学校推薦型選抜入学・一般選抜入学・総合型選抜入学・編入学」に変更した。(元)</p> <p>2) 学則の変更(平成31年4月1日改正) ①学科の教育上の目的を第5条(3)に規定した。 ②札幌保健医療大学評議会規程の変更により、第9条を改正した。 ③札幌保健医療大学教授会規程の変更により、第10条を改正した。 ④教育職員免許法・同施行規則の一部改正に伴い、別表4の教職課程の科目を改正した。 ⑤入学試験制度を追加することに伴い、別表5の試験区分に「社会人入学」を追加した。(元)</p> <p>3) 入学試験制度の変更 ①社会人入学制度 栄養学科のみ実施で、若干名の社会人入学希望者を受け入れる。受験資格は満25歳以上の者または、満21歳で2年以上の社会経験があるものが対象で、小論文、個人面接試験で評価する。(元)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD委員会 札幌保健医療大学FD委員会規程(資料添付)(29)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>【平成29年度】</p> <p>第1回:平成29年4月13日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第2回:平成29年5月23日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第3回:平成29年6月26日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第4回:平成29年7月12日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第5回:平成29年9月7日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第6回:平成29年10月17日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第7回:平成29年11月21日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第8回:平成29年12月21日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>第9回:平成30年2月6日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>第10回:平成30年3月6日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>【平成30年度】</p> <p>第1回:平成30年4月19日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第2回:平成30年5月17日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p> <p>第3回:平成30年6月15日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>第4回:平成30年7月17日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>第5回:平成30年9月13日開催(参加4名:教育職員4名、事務0名、欠席1名)</p> <p>第6回:平成30年10月19日開催(参加4名:教育職員3名、事務1名、欠席1名)</p> <p>第7回:平成30年11月12日開催(参加5名:教育職員4名、事務1名、欠席なし)</p>
--



## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

- 第8回：平成30年12月11日開催(参加5名：教育職員4名、事務1名、欠席なし)
- 第9回：平成31年1月17日開催(参加5名：教育職員4名、事務1名、欠席なし)
- 第10回：平成31年2月21日開催(参加5名：教育職員4名、事務1名、欠席なし)
- 第11回：平成31年3月15日開催(参加5名：教育職員4名、事務1名、欠席なし)

### o 委員会の審議事項等

【平成29年度】

#### 《第1回FD委員会》

- ・平成29年度FD委員会年間活動計画(案)について
- ・平成29年度FD研修会の実施及び企画について
- ・平成29年度「学生による授業評価アンケート」の実施について

#### 《第2回FD委員会》

- ・平成29年度第1回FD研修会について
- ・「学生による授業評価アンケート」について
- ・平成29年度FD委員会年間活動計画(案)について
- ・平成29年度FD研修会の検討
- ・平成29年度学術セミナーの検討

#### 《第3回FD委員会》

- ・平成28年度授業評価アンケート結果報告について
- ・平成29年度FD・SD研修会及び学術セミナーの活動計画について
- ・平成29年度第1回学術セミナーについて
- ・「授業評価アンケートに対するご意見・ご提案等のお願い」内容の検討

#### 《第4回FD委員会》

- ・第1回学術セミナー開催報告について
- ・平成28年度後期授業評価アンケート結果報告について
- ・平成29年度FD・SD研修会及び学術セミナーの活動計画について
- ・委員会年間活動計画について
- ・平成29年度第2回学術セミナーについて
- ・平成29年度授業評価アンケート意見伺い内容の検討について

#### 《第5回FD委員会》

- ・第2回学術セミナー準備進捗状況について
- ・平成29年度前期授業評価アンケート結果報告について
- ・平成29年度FD・SD研修会及び学術セミナーの活動計画について
- ・平成29年度学生授業評価アンケートに対する意見提出依頼について
- ・平成28年度学生の授業評価アンケート結果内容について

#### 《第6回FD委員会》

- ・第2回学術セミナーアンケート結果について
- ・平成29年度前期授業評価アンケート結果報告について
- ・平成29年度FD・SD研修会・学術セミナー日程について
- ・平成29年度第2回FD研修会について

#### 《第7回FD委員会》

- ・第2回FD研修会アンケート結果について
- ・平成29年度前期授業評価アンケート結果報告について
- ・平成30年度FD委員会活動計画(案)について
- ・平成30年度FD委員会予算(案)について
- ・第3回FD研修会の業務分担について

#### 《第8回FD委員会》

- ・第3回FD研修会アンケート結果について
- ・第4回FD・SD研修会の業務分担について
- ・第3回学術セミナーの業務分担について
- ・教職員の合同研修について

#### 《第9回FD委員会》

- ・第4回FD・SD研修会業務分担について
- ・第3回学術セミナー業務分担について
- ・平成29年度委員会活動報告について
- ・FD・SD研修会欠席者への代替え措置について
- ・本学FD研修会の北海道大学FD・SD推進協議会への振替措置について

#### 《第10回FD委員会》

- ・平成30年度FD委員会活動計画について
- ・平成30年度FD・SD研修会及び学術セミナー活動計画について
- ・平成29年度委員会等活動報告書について

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

- ・第4回FD・SDアンケート結果について
- ・第3回学術セミナーアンケート結果について
- ・平成29年度 後期授業評価アンケート結果について

### 【平成30年度】

#### 《第1回FD委員会》

- ・平成30年度FD委員会年間活動計画（案）について
- ・平成30年度FD・SD研修会及び学術セミナー活動計画について
- ・第1回FD研修会の実施内容と業務分担について
- ・授業評価アンケートの実施方法について
- ・FD委員会規程について
- ・平成29年度委員会等活動報告書について
- ・平成30年度FD委員会予算について
- ・平成29年度後期授業アンケート結果について

#### 《第2回FD委員会》

- ・平成29年度FD委員会活動報告書について
- ・平成29年度後期授業アンケート結果について
- ・第1回FD研修会アンケート結果について
- ・平成30年度FD・SD研修会及び学術セミナー活動計画について
- ・授業評価アンケートの分析方法について
- ・11月からの授業見学の実施方法について

#### 《第3回FD委員会》

- ・第1回学術セミナーの業務分担について
- ・授業アンケート結果の分析について

#### 《第4回FD委員会》

- ・第2回学術セミナーの業務分担について
- ・第1回学術セミナー開催報告について
- ・FD・SD研修会、学術セミナー欠席者への代替え措置について

#### 《第5回FD委員会》

- ・第2回FD研修会の業務分担について
- ・第2回学術セミナーの準備進捗状況について
- ・第4回FD研修会 授業見学希望調査票について

#### 《第6回FD委員会》

- ・第3回FD・SD研修会の業務分担について
- ・平成30年度前期授業評価アンケート結果報告について
- ・第2回学術セミナーアンケート結果について
- ・第4回FD研修会 授業見学について
- ・第2回FD研修会アンケート結果について

#### 《第7回FD委員会》

- ・2019年度活動計画ならびに予算について
- ・合同FD・SD研修について
- ・平成30年度前期授業評価アンケート結果報告 進捗について

#### 《第8回FD委員会》

- ・2019年度活動計画について
- ・第3回学術セミナーについて
- ・第3回FD・SD研修会アンケート結果報告について
- ・第4回FD研修会（授業見学）の経過について

#### 《第9回FD委員会》

- ・2019年度活動計画について
- ・北海道地区FD・SD推進協議会特別総会について

#### 《第10回FD委員会》

- ・第3回学術セミナー開催報告

#### 《第11回FD委員会》

- ・活動報告書案について
- ・来年度計画について

## ② 実施状況

### a 実施内容

#### 【平成29年度】

第1回FD・SD研修会（平成29年5月16日開催）

第1回学術セミナー（平成29年7月10日開催）

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

- 第2回学術セミナー (平成29年9月15日開催)
- 第2回FD研修会 (平成29年11月13日開催)
- 第3回FD研修会 (平成29年12月13日開催)
- 第1回SD・FD研修会 (平成29年12月26日開催)
- 平成29年度合同SD研修会 (平成30年1月27日開催)
- 第4回FD・SD研修会 (平成30年2月16日開催)
- 第3回学術セミナー (平成30年2月23日開催)
- 第2回SD研修会 (平成30年3月16日開催)

【平成30年度】

- 第1回FD研修会 (平成30年5月10日開催)
- 第1回学術セミナー (平成30年7月9日開催)
- 第2回学術セミナー (平成30年9月14日開催)
- 第2回FD研修会 (平成30年10月17日開催)
- 第3回FD・SD研修会 (平成30年11月30日開催)
- 第1回SD・FD研修会 (平成30年12月17日開催)
- 第4回FD研修会 (平成30年11月～31年1月開催)
- 第3回学術セミナー (平成31年2月15日開催)
- 第2回SD研修会 (平成31年3月13日開催)

b 実施方法

【平成29年度】

- 第1回FD・SD研修会：外部講師を招き「シラバスで整える授業の骨格」について研修を行う
- 第2回FD研修会：外部講師を招き「シラバスに関するグループディスカッション」について8グループで行う
- 第3回FD研修会：栄養学科「食品科学実験Ⅰ」の授業参観 (体験有)
- 第4回FD・SD研修会：外部講師を招き「学生のやる気を育てる」の講演
- 第1回学術セミナー：「ダニ媒介性脳炎」をテーマに本学教員による講演
- 第2回学術セミナー：「科研費」をテーマに本学教員・職員による講演
- 第3回学術セミナー：「健康危機管理の災害時における栄養・食生活」をテーマに本学教員による講演
- 平成29年度合同SD研修会：他大学と合同で部署別発表を行う
- 第1回SD・FD研修会：外部講師を招き「高大接続と新選抜方式について」について講演
- 第2回SD研修会：本学教職員による「ハラスメントに関する事項」「平成30年度大学運営に関する基本方針について」「公的研究費等に対する不正研究および不正使用に関する事項について」の講演

【平成30年度】

- 第1回FD研修会：「教育評価におけるルーブリック評価法の理解と作成体験」
- 第1回学術セミナー：「異所性脂肪蓄積」
- 第2回学術セミナー：「事務手続き等および研究費不正使用防止について」  
：「科研費の申請実例について」
- 第2回FD研修会：「学生の自主性とやる気を引き出すために」
- 第3回FD・SD研修会：「情報モラル・セキュリティについて」
- 第1回SD・FD研修会：「科学研究費補助金に関する基本的な知識の習得および次年度の応募に向けて研究計画調書作成の理解を深める」
- 第4回FD研修会：授業見学
- 第3回学術セミナー：「統合失調症を患う人々の身体的体験-A氏が体験した‘主体の空白化’ - 」
- 第2回SD研修会：「2019年度大学運営に関する基本方針について」  
「高等教育の負担軽減 (高等教育無償化制度) の具体的な方策について」

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

【平成29年度】

- 第1回FD・SD研修会：参加者37名
- 第1回学術セミナー：参加者35名
- 第2回学術セミナー：参加者31名
- 第2回FD研修会：参加者39名
- 第3回FD研修会：参加者36名
- 第1回SD・FD研修会：参加者26名
- 平成29年度合同SD研修会：参加者19名
- 第4回FD・SD研修会：参加者47名
- 第3回学術セミナー：参加者45名
- 第2回SD研修会：参加者14名

## (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

### 【平成30年度】

- 第1回FD研修会：参加者37名
- 第1回学術セミナー：参加者35名
- 第2回学術セミナー：参加者30名
- 第2回FD研修会：参加者38名
- 第3回FD・SD研修会：参加者42名（教員31名、職員11名）
- 第1回SD・FD研修会：参加者48名（教員25名、職員15名）
- 第4回FD研修会：参加者13名
- 第3回学術セミナー：参加者36名
- 第2回SD研修会：参加者18名

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD研修会としてシラバスに関するグループディスカッションを行い、シラバスの作成の仕方、重要性を再認識し、平成30年度のシラバス作成に大変有益となった。また、授業参観を行うことにより、授業の進め方、学生との双方向授業、学生への資料提示内容、教員の声の大きさ等が確認でき、授業改善への大きな参考となった。さらに、FD・SD合同の研修会では教職員間の認識の共有化が図られ、学生への教育に対しての一体感が醸成された。(30)

研修会については予定通りの開催ができ、教職員の積極的な参加があった。平均参加率は78.5%でアンケートにおいても常に95%以上の教職員が参考になったとの高評価であり、充実した授業を展開するためとする研修テーマに繋がった。学術セミナーにおいても予定通りの開催を行うことができ、参加率63.6%で看護、栄養の相互理解に繋がった。(元)

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

- 実施の有無：実施する(29)(30)(元)
- 実施時期：前期・後期の各授業の最終日に実施した。(29)(30)  
前期・後期の各授業の最終日に実施を予定している。(元)

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

- 看護・栄養両学科学生を対象とした授業評価アンケート結果及び科目担当教員の授業改善意見を報告書としてまとめ、製本したものを図書館に設置したうえで、さらに学内掲示板にて学生及び教職員へ向け公開した。(29)
- 看護・栄養両学科学生を対象とした授業評価アンケート結果及び科目担当教員の授業改善意見を報告書としてまとめ、製本したものを図書館に設置したうえで、さらに学内掲示板にて学生及び教職員へ向け公開予定。(30)
- 看護・栄養両学科学生を対象とした授業評価アンケート結果及び科目担当教員の授業改善意見を報告書としてまとめ、製本したものを図書館に設置したうえで、さらに学内掲示板にて学生及び教職員へ向け公開予定。(元)

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

## (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新学科開設当初ということもあり、自己点検・評価活動は行っていない。第1学年終了時、「自己点検・評価委員会」を中心に自己点検・評価報告書を作成し、初年度の総括を行った。(29)

平成30年度の自己点検・評価は、各種委員会活動報告書を中心に自己点検年度報告書を作成することとしている。(30)

令和元年度の自己点検・評価は、各種委員会活動報告書を中心に自己点検年度報告書を作成することとしている。(元)

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表(予定)時期

・令和元年7月1日 公表

###### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(令和元年7月1日を予定)
- ・大学図書館に報告書(冊子体)を設置(令和元年7月1日を予定)

##### ③ 認証評価を受ける計画

・平成30年度に日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、適合認定を受けた。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (  有 ) ・ (  無 )

b 公表有の場合の公表(予定)時期 ( 令和元年7月1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( 該当なし )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。